

2020年6月1日

三井化学株式会社

ESG 推進室「気候変動・プラスチック戦略グループ」を新設

三井化学株式会社（所在：東京都港区、代表取締役社長：橋本修）は、ESG 推進室内に「気候変動・プラスチック戦略グループ」を6月15日付で新設します。

「気候変動・プラスチック戦略グループ」の設置の目的

- ・ 気候変動対応方針、プラスチック戦略^{*1}の推進加速
- ・ 循環経済をはじめとするグローバルな ESG 情報の収集・分析及び全社戦略への反映
- ・ TCFD^{*2}への対応等、情報開示の強化

当社グループは、プラスチックを中心とする製品・サービスを提供する化学企業として、気候変動とプラスチック問題は真摯に取り組むべき重要な社会課題と考えています。本組織の設置により、気候変動対応とプラスチック戦略を一体と捉えた取組みを加速し、循環経済の実現に取り組んでまいります。

■ 当社の ESG への取組み

当社は、2018年4月に ESG 推進室を設置し、ESG 要素を経営・戦略に積極的に取り込み、「環境と調和した共生社会」、「健康安心な長寿社会」の実現に向けてビジネスモデルの変革を進めています。また2019年には、TCFD 提言への賛同や AEPW^{*3}への参画、気候変動対応方針およびプラスチック戦略の発表などを行いました。

気候変動対応やプラスチック戦略の加速とともに、環境貢献価値 Blue Value[®]、QOL 向上価値 Rose Value[®]^{*4}の提供拡大をはじめとする事業活動を通じた社会価値創造を深化させ、グローバルに存在感のあるサステナブルな企業グループを目指します。

参考

※1 気候変動対応方針とプラスチック戦略

https://jp.mitsuicheicals.com/jp/sustainability/mci_sustainability/climate_change/index.htm

※2 TCFD : Task Force on Climate-related Financial Disclosures <https://www.fsb-tcfid.org/>

金融安定理事会によって設立された気候関連財務情報開示タスクフォース。

※3 AEPW : Alliance to End Plastic Waste <https://endplasticwaste.org/>

化学、プラスチック加工、小売り、廃棄物管理など、プラスチックのバリューチェーンに携わるグローバル企業が参加するイニシアチブ。

※4 Blue Value[®]・Rose Value[®]

https://jp.mitsuicheicals.com/jp/sustainability/mci_sustainability/contribution_value/index.htm

当社グループが提供する製品・サービスの環境および社会への貢献を見える化し、その価値をステークホルダーの方々々と共有できるようにしたもの。製品・サービス用途別に独自の指標で評価し、環境貢献価値の高いものを Blue Value[®]製品、QOL 向上貢献価値の高いものを Rose Value[®]製品として認定している。

以上